

2005「植村直己冒険賞」受賞者



永瀬 忠志
大阪市東住吉区在住

リヤカーを引き世界各地を徒歩踏破

趣 旨

大学2年生の冬、バス車掌のアルバイトをしていて、中学生のスキー泊旅行に同行した。民宿に着いて夕食後、中学三年の女の子と旅について話をしていた。その時「今度また、どこか歩くの？」と聞かれ、つい、「今度は世界だ！」と言ってしまった。女の子はケラケラ笑っていたが、「今度は世界だ」、この一言が頭から離れなくなってしまった。この約束を果たしたいと思った。この一言から私の身体と心は「世界を歩く」という目標に向かって突進を開始した。(著書から抜粋)

冒険内容

1975年から30年かけリヤカーを引き、世界各地を徒歩踏破。合計距離は40107キロメートルになり、地球赤道距離を越える距離となった。

2005年は、再度リヤカー（田吾作ジュニア3号）を引き、1975年に行った日本縦断と同じルートで、お世話になった人へのお礼を兼ねて、北海道から鹿児島まで3000キロを79日かけて踏破した。

独創性

リヤカーを引いての徒歩踏破。

冒険経歴

★印はリヤカーを引く。その他はリュックサックを背負って歩く。

- 1974年（18才） 自転車で日本一周7500キロ。
- ★1975年（19才） 徒歩でリヤカー「大左エ門」を引いて宗谷岬から佐多岬まで70日かけて日本3200キロ縦断。
- ★1978～79年（22才） リヤカー「田吾作」を引いてオーストラリア大陸4200キロ横断達成。東海岸のシドニーから西海岸のパースまで100日で歩く。
- ★1982～83年（26～27才） リヤカー「田吾作2号」を引いて徒歩でアフリカ大陸横断。東海岸のケニアのモンバサから西海岸のカメルーンのドアラまで、赤道地帯を徒歩横断。さらにサハラ砂漠徒歩縦断を目指して進行中、ナイジェリア北部のカノで荷物一式をリヤカーごと盗まれ、216日目に断念。いったん帰国。
- 1987年（31才） 韓国徒歩縦断466キロ。プサンからソウルまで11日間で歩く。
- 1988年（32才） スリランカ徒歩横断360キロ。西海岸コロンボから東海岸ポッツビルまで9日間で。
- 1988～89年（32才） 台湾徒歩縦断536キロ。北部のキールンから南部のタイナンまで14日間で歩く。

- ★1989～90年（33～34才） リヤカー「田吾作3号」でアフリカ大陸徒歩横断・サハラ砂漠徒歩縦断11100キロ達成。再度モンバサから第一歩、すべてをやり直す。サハラを北上、ついには、フランス・パリの凱旋門まで到達。376日がかかりだった。「田吾作3号」の総重量は220キロ。「長い旅だった。この1年間の旅は、10年を生きていたほどの長さにも感じていた」と当時書いた。
- 1991年（35才） インドネシア・ジャワ島徒歩横断・成らず。西部のジャカルタから東部のスラバヤまで800キロを目指す、7日目に二人組みにナイフで脅され、以後待ち伏せされるようになったため253キロで断念。
- 1995年（39才） マレー半島徒歩横断408キロ。西海岸のクアラスランゴールから東海岸のクアンタンまで、11日間で歩く。
- 1996年（40才） 南インド徒歩横断562キロ。東海岸パラングペタイから西海岸ベイプーアまでを18日間で歩く。
- 1987年（40～41才） フィリピン・パラワン島徒歩縦断414キロ。北部のタイタイから南部のバタラザまで11日間で歩く。
- ★1998年（42才） リヤカー「田吾作ジュニア1号」を引いてモンゴル徒歩縦断達成。北部のスフバートルから南ゴビの町、ダランザドガドまで25日間で864キロを歩く。
- 1999年（43才） タイ北部徒歩横断596キロ。東部のナンプーンから西部のメーサムレップまで15日間で。7日目から重いリュックを手車「ミニ田吾作ロックン」に積んで歩いた。
- ★2000年（44才） 中国・タクラマカン砂漠をリヤカー「田吾作ジュニア2号」を引いて北部ルンタイから南部のミンフンまで徒歩縦断。590キロを11日かけて歩く。
- ★2001年（45才） 高校生手作りのリヤカーで紀伊半島徒歩横断155キロ。大阪府立堺工業高校機械科の生徒5人（当時3年）が製作した手作りリヤカー「田吾作スペシャル」を引いて大阪・堺市から三重県の伊勢神宮まで5日間で歩く。
- ★2001年（45才） リヤカー「田吾作ジュニア3号」を引いて、アフリカ・ボツワナのカラハリ砂漠縦断。591キロ。南部のカニエから北部のハンツィまで14日。
- ★2003～04年（47～48才） リヤカー「田吾作4号」を引いて、南米大陸徒歩縦断8800キロ達成。03年6月10日、日本を出発。6月24日北海岸ベネズエラのプエルトラクルスを歩き出し、04年3月15日、大陸最南端のアルゼンチン・ウシュアイアに到達。266日間がかかりだった。
- ★2004年（48歳） 沖縄島一周312キロを踏破。これまでの踏破距離が4万107キロとなり、赤道の「地球一周4万キロメートル」に到達した。
- ★2005年（49歳） リヤカー「田吾作ジュニア3号」を引いて、日本縦断（北海道宗谷岬～鹿児島佐多岬）約3000キロを79日間で踏破。前回お世話になった人へのお礼を兼ね踏破。

その他

- 著書に「田吾作号の冒険」（立風書房 82年5月刊）
- 「田吾作、アフリカに行く」（立風書房 86年4月刊）
- 「リヤカーマン アフリカに行く」（学習研究社 91年9月刊）
- 「サハラてくてく記」（山と溪谷社 94年10月刊）
- 「アジアてくてく記」（山と溪谷社 98年9月刊）
- 「リヤカーマン」（遊タイム出版 05年5月刊）がある。

2005 冒険情報一覧表

	山	縦横断	海	極地	空	川	その他	計
個人活動	26	55	7	1	1	0	0	90
団体活動	23	16	7	0	0	1	0	47
合計	49	71	14	1	1	1	0	137